

タイヤ保管業務を委託

東京・多摩地域・ダイワコーと提携

タカラ倉庫運輸サービス（渡辺慎也社長、神奈川県海老名市）はダイワコーポレーション（曾根和光社長、東京都品川区）と提携し、4月から東京都多摩地域での乗用車用ホイール付き預かりタイヤの保管・配送・回収業務を委託した。同地域向け業務はこれまで、タカラ倉庫の厚木センター（厚木市）で行ってきたが、同地域での需要増加に伴いウインクローダー（高嶋民仁社長、東京都東村山市）の昭島市の倉庫に移管する。

（吉田英行）

タカラ倉庫

急なオーダーに対応

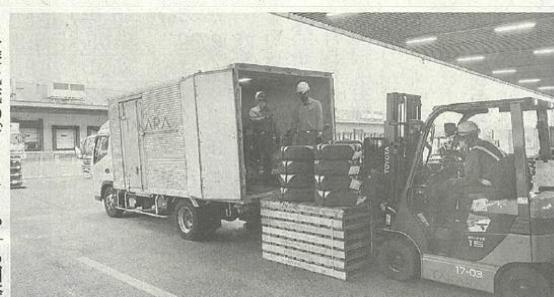
タカラ倉庫が展開するタイヤ保管配達サービスは、自動車ディーラーやショップがユーザーから預けられたオフシーズンタイヤを専用倉庫で保管・管理し、6社目となる。

オーダーがあった際に配達・回収するもの。全国の物流会社と提携して30以上の都道府県をカバーしておき、他社との提携は今回で

タカラ倉庫とダイワコーとは2月28日付で業務契約を締結。これまで、多摩地区のタイヤは、タカラ倉庫の厚木センターで保管し、

タカラ倉庫が展開するタカラ倉庫が運営するタイヤショップから預かる自動車ディーラーやショップがユーザーから預けられたオフシーズンタイヤの本数も相談していくことから今

も相談していくことから今回の提携が実現した。内滑な移管のため、3月に厚木・多摩の輸送を減らすことで効率化・二酸化炭素(CO₂)削減、ドライバーの労働時間短縮など



預かりタイヤの保管需要が増加（タカラ倉庫の厚木センター）

4千セット（5万6千本）についても、保管拠点が見付かり次第委託する計画。

ダイワコーポ

タカラ倉庫は、全国各地

で他社との提携を拡大。20年3月には大阪府内向け業務を尼崎南運輸（中島孝博社長、兵庫県尼崎市）と同

年12月には東京都東部エリア向けを天馬サービス（滝川邦勝社長、千葉市美浜区）につかだ。多摩地区での需要の増加に伴い、タカラ倉庫では数年前から新たな提携先を探

グループに、それぞれ委託

している。渡辺社長は「コンプライアンス（法令順守）上、委

託先は営業倉庫に限つていており、銀行に

託先は営業倉庫に限つていており、銀行に可能な物流会社との連携方法の研修を実施し、委託先にノウハウを提供。また、タカラ倉庫が開発した

WMS（倉庫管理システム）についても無償提供し、データーなどをからのオーダーをシステム経由で直接受ける仕組みも順次移管する。

タイヤの労働時間短縮など

本）を委託し、残りの1方た、タカラ倉庫が開発した

可能な物流会社との連携

で、需要の多い預かりタイヤサービスを更に広げ、タイヤ物流の一層の効率化にも貢献したい」と話してい